

6) 緑化木の病虫害に関する調査研究

辻本悟志¹

キーワード：アカギヒメヨコバイ ソテツシロカイガラムシ ギンネム 薬剤防除試験

1. はじめに

観光産業が盛んな沖縄にとって、沖縄らしい景観の形成に重要な役目を果たす緑化木の健全な育成は重要である。

近年、アカギやソテツ等の伝統的景観木に日本国内で初確認の害虫や世界で問題となっている害虫の発生および被害が確認されており、防除対策が急務となっている。そこで本調査では、沖縄らしい景観の保全を目的に、アカギやソテツ等の害虫に対する薬剤防除試験を実施した。

2. アカギ

アカギ *Bischofia javanica* は、沖縄県内全域の街路や公園内に植栽されている常緑高木である。近年、全県的にアカギヒメヨコバイ *Coloana arcuata* が発生し、落葉などの被害が確認されている。そこで、当研究室ではアカギヒメヨコバイの防除を目的に、薬剤効果試験を実施した。尚、本研究の一部は、令和4年度および令和5年度アカギ被害対策検討事業委託業務（沖縄県）の一環で実施したものであり、また、令和4年度公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の助成を受けている。

散布用薬剤アプロードフロアブルが、過年度においてアカギヒメヨコバイの幼虫に対する効果が確認され、今年度の令和5年7月19日に適用拡大された。アカギヒメヨコバイに対する薬剤について、樹幹注入剤では1薬剤が既に適用拡大されているが、散布用薬剤は本薬剤が初めてである。

3. ソテツ

ソテツ *Cycas revoluta* は、沖縄県では学校や公園等に植栽され、あるいは野外に自生している常緑低木である。令和5年に、国頭村内の公園内等において、*Aulacaspis yasumatsui* (ソテツシロカイガラムシ、写真-1) が発生し、葉の褐変などの被害が確認されている (川口ら 2024)。そこで、ソテツシロカイガラムシの防除を目的に、薬剤効果試験を実施した。

今年度は、樹木類・カイガラムシ類幼虫で登録のある散布用薬剤1薬剤を用いて、ソテツシロカイガラムシの幼虫に対する効果を確認した。次年度に他

の薬剤を用いた試験を実施し、適用拡大を目指す。



写真-1 沖縄市でソテツシロカイガラムシによる被害が確認されたソテツの被害木

4. ギンネム

ギンネム *Leucaena leucocephala* は、世界の侵略的外来種ワースト100に選定され、生態系被害防止外来種リスト (旧要注意外来生物) に記載されている。特に、沖縄県北部地域で異常繁殖しており、沖縄らしい景観に支障をきたしたり、道路標識が見えにくくなったりする等、身近な生活にも影響を及ぼしている。

そこで、当研究室ではギンネムの防除を目的に、薬剤メーカー (保土谷アグロテック (株)) と共同で、ケイピンエースを用いた薬剤防除試験を実施した (令和5年10月11日に適用拡大)。尚、本研究の一部は、公益信託 宇流麻学術研究助成基金の助成を受けている。

5. 外部評価委員会コメント

病虫害防除技術研究の実用的な効果について目的が明確であり、応用性も高いと思われる。研究発表はかなりの成果を上げており、今後もより努力されたい。産業との結びつき、実用的応用例など、具体的な検証も試みるよう期待する。(池田顧問：琉球大学名誉教授)

参考文献

1) 川口エリ子・米森正悟・坂巻祥孝・高木貞夫, 2024. 奄美大島でみられたソテツシロカイガラムシ (新称) (半翅目: マルカイガラムシ科) の同定とソテツの被害発生状況. 樹木医学研究 28: 3-9.

¹植物研究室